

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察注意報第4号

ナシ 黒星病

1. 発生地域（対象地域） 県下全域
2. 発生程度 多
3. 注意報発令の根拠
 - (1) 4月から5月上旬にかけて低温・多雨の傾向が続き、本病の発生に好適であった。
 - (2) 5月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発病葉率は0.6%（0.4%）、発生圃場率は41.7%（19.7%）、発病果率は0.3%（0.0%）、発生圃場率は33.3%（7.5%）で平年より発生が多い。
 - (3) 一部圃場では、幼果で多発生している。
4. 防除法等
 - (1) 本病に対してはE B I剤が防除効果が高い。ただし、薬剤の感受性低下を避けるため、連用を避け、年間の使用回数を極力3回以内に抑える。
 - (2) 発病葉や発病果は伝染源となるので圃場に放置せず園外に持ち出して処分する。



図1 果実の病徴



図2 葉の病徴